2026年11月12日

各　　位

上場会社名　センコーグループホールディングス株式会社
代　表　者　　代表取締役社長　　福田　泰久
（コード番号　９０６９　東証プライム）
問合せ先　　法務部長　　梅津　知弘
（ＴＥＬ．　０３－６８６２－８８４０）

2027年３月期第２四半期（中間期）における特別利益の計上、連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当・増配）及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、2026年５月13日に公表した2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と本日公表の実績との間に差異が生じたこと等を踏まえ、本日開催の取締役会において通期連結業績予想を修正するとともに、2026年９月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正について決議いたしました。あわせて、当中間連結会計期間において特別利益を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．特別利益の計上について

2027年３月期第２四半期（中間期）において、以下の特別利益を計上いたしました。

（１）Umios ロジ株式会社の株式取得に伴う負ののれん発生益 7,392百万円

（２）株式会社丸運の一連の株式取得に伴う本年度の負ののれん発生益2,239百万円

（３）連結子会社である株式会社丸運の政策保有株式の売却に伴う投資有価証券売却益2,049百万円

２．連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正について

（１）2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異

（2026年４月１日～2026年９月30日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	490,000	17,900	16,200	10,300	61.52
実績値（B）	501,885	21,623	20,212	22,604	134.76
増減額（B－A）	11,885	3,723	4,012	12,304	－
増減率（　％　）	2.4	20.8	24.8	119.5	－
（ご参考）前年同期実績（2026年３月期中間期）	436,893	16,199	15,389	8,721	50.99

（２）2027年３月期通期連結業績予想の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	1,020,000	43,000	39,300	23,400	139.77
今回発表予想（B）	1,040,000	45,000	42,000	33,300	198.53
増減額（B－A）	20,000	2,000	2,700	9,900	－
増減率（　％　）	2.0	4.7	6.9	42.3	－
（ご参考）前期実績（2026年３月期）	899,620	36,996	35,242	19,320	113.68

（3）差異及び修正の理由

2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績につきましては、拡販ならびに料金・価格改定などにグループ全体で取り組むとともに、M&Aの収益寄与があったことなどにより、堅調に推移しました。また、上記1．に記載の特別利益を計上しました。これらの結果、営業収益、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益は、いずれも前回発表予想を上回りました。

通期連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間の連結業績及び足元の状況を踏まえ、上記のとおり修正いたします。なお、親会社株主に帰属する当期純利益の増加は、主に上記の特別利益の計上によるものです。

3．剰余金の配当について

（1）剰余金の配当（中間配当）の決定内容

	決　定　額	直近の配当予想 (2026年5月13日公表)	前期実績 (2026年3月期)
基　準　日	2026年9月30日	同左	2025年9月30日
1株当たり配当金	30円00銭	28円00銭	25円00銭
配当金総額	5,130百万円	―	4,383百万円
効力発生日	2026年12月1日	―	2025年12月2日
配 当 原 資	利益剰余金	―	利益剰余金

（2）期末配当予想の修正の内容

	1株当たり配当金		
基準日	第2四半期末（中間）	期末	合計（年間）
前回発表予想 (2026年5月13日)	28円00銭	28円00銭	56円00銭
今回修正予想		30円00銭	60円00銭
当期実績	30円00銭		
前期実績 (2026年3月期)	25円00銭	25円00銭	50円00銭

（3）理由

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様への利益還元を充実させるため、安定配当に加え、業績連動を考慮した配当を実施することを基本方針としており、連結配当性向 40%を目安としております。なお、今回の配当額の算定に当たっては、負ののれん発生益の影響を除いた利益水準を勘案しております。

この基本方針のもと、2027 年3月期の中間配当金につきましては、当中間連結会計期間の連結業績が順調に推移したことを勘案し、2026年5月13日に公表いたしました1株当たり28円から2円増配し、30円といたします。また、期末配当予想につきましても、1株当たり28円から2円増配し、30円といたします。この結果、年間配当予想は1株当たり60円（中間30円、期末30円）となる見込みです。

以　上